赤外線電子温度計 DT-8836　取扱説明書

◆使用方法

●温度の測定

①温度測定スイッチを押して電源を入れます。

②手に本製品を持ち、温度を測りたい箇所に 5~8cm 離して IR センサーを向けます。

③温度測定スイッチを押して、温度を測定します。(ブザーが鳴ると温度測定完了)

※周囲の気温が 10~40℃だと正確に計ることができます。

※測定値が体温計モードで 42.5℃を上回るとディスプレイに「HI」と表示され、32℃を下回るとディスプレイに「LO」と表示されます。

④何も操作をせず、約 7 秒間放置すると自動で電源が切れます。

●測定値の自動記録

温度を測定すると自動的に測定値が記録されます。上下ボタンを押すことで記録された測定値を表示できます。

※最大 32 件記録することができます。

●体温計/温度計モード切替え

温度測定スイッチを押して電源を入れ、モードボタン(MODE)を押すと体温計/温度計モード切替えができます。

ディスプレイに「Body temp」と表示の場合は、体温計モードです。

ディスプレイに「Surface」と表示の場合は、温度計モードです。

<セットアップモード>

温度測定スイッチを押して電源を入れ、バックランプボタンを 2 秒間押し続け、セットアップモードにします。

●摂氏(℃)/華氏(F)の切替え

ディスプレイに F1 と表示させた状態で上下ボタンを押すと、

摂氏(℃)と華氏(F)の切替えができます。

●警報を鳴らす値の設定

ディスプレイに F1 と表示させた状態で、2 回モードボタンを押して F2 の表示に切替えます。

上下ボタンを押すと、体温測定時に警報を鳴らす値を設定できます。

(0.1℃（0.1F）単位で設定、設定上限 38℃（100.4F))

●ブザーの ON/OFF

ディスプレイ F1 と表示せた状態で、3 回バックランプボタンを押して F4 の表示に切替えます。

上下ボタンを押すとブザーの ON/OFF を設定できます。

◆取り扱い上の注意

●本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

●用途以外には使用しないでください。

●本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。

●本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。

●本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや油煙などの多い場所で使用・保管しないでください。

●本製品を水中で使用・保管しないでください。また、濡れた手で触れないでください。

●お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。

●本製品が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。濡れた布などで拭くと故障の原因になります。

また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと変形や変色することがありますので使用しないでください。

●感電を避けるため、電気の流れているものの近くで使用しないでください。

●本製品を温度の高い、もしくは低い環境に保管している場合は、測定を行なう前に 15~20 分程度常温の室

内に置いてから使用してください。

◆電池交換

1.電池減少アイコンが表示されたら、電池を交換してください。

2.電源が OFF になっていることを確認したら、窪みに指をかけて電池カバーを矢印の方向に外します。

3.電池端子+-向きに注意して電池をはめこみ、電池カバーを取付けます。

※電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体のルールに従ってください。

※長期間使用しない場合は、電池を取出してから保管してください。電池の液漏れが故障の原因となる場合があります。

〒599-8272

大阪府堺市中区深井中町1137-5

ロワジャパン有限会社 info@rowa.co.jp